

社会福祉法人青空

令和2年度 事業計画

国は地域共生社会の実現を打ち出し、住民や関係者等の多様な主体が生活上の課題を我が事として受け止め繋がり、これからの地域を共に創るための政策を推進している。又、複雑・多様化した課題に向き合う為に多機能・多職種が連携・協力してチームで対応する力が求められている。

地域福祉に貢献する専門家として力を発揮することが法人に求められている中、実践の推進役を担い、チームの成長を導くリーダー層の力を高めていくことが重要な課題となっている。今年度も人財の育成に力を注ぎ、下記の事業計画を実行していく。

1. 事業計画

(1) 組織運営のガバナンス強化

社会福祉法人設立後 10 年目を迎えるにあたり、諸規程の見直しおよび改定を実行。理事会・評議員会の適正な運営を引き続き継続する。

(2) 法人理念の浸透と人財育成

「信愛和誠」の理念が具体的に何を示すのかについて等級基準書等により各等級毎、職務内容や職責を明確化し全職員が可視化できる基盤づくりができた。今年度は、今まであった目標管理シートや自己評価も併せそれらが円滑に活用できるよう、システムの改善及び職員への伝達により理解を深めていくことで、その実現に近づけていく。

また、システムに合わせて努力した職員が報われる定期昇給や一時金支給の仕組みづくりにより職員のモチベーションアップを図る。

アセッサー制度について外部内部研修への参加により職員の理解を広め深めると共に、内部での活用について組織的に取り組んでいく。

(3) 地域福祉のニーズの発掘と必要なサービスの検討

地域のニーズについてリサーチし、求められているサービスを現状のサービスにどのように加えていけるか、及び新たなサービス開拓の必要性について検討する。

加えて、様々な媒体を通じた情報共有がなされている現在、組織の運営や活動の状況を伝達する手段として新たに SNS サービスの活用を検討していく。

(4) 財政基盤の安定化と運営の透明性の向上

財政基盤の安定化では職員一人一人が理念だけでなく経営的視点から考え行動できる組織創りを目指していく。セクションを基本単位として主任・リーダーが健全な経営について、自セクションの課題を自ら考え実行できるよう教育を積み重ねていきたい。

運営状況等、情報の適正な開示により透明性を持った運営を行う。

22-2、①、⑪、2、③

また、昨年度は全セクションで稼働が低迷した。原因の追究と、対策を検討し実行したい。
過去3年間の保育園・シニア（デイサービス・有料老人ホーム）の推移。
(稼働率と収入)

稼働率

稼働率	保育園 1440名	デイサービス 4320名	有料老人ホーム 6480名
平成29年度	109%	76.6%	94.5%
平成30年度	104%	83.4%	98%
平成31年度	90%	85.5%	88.9%

収入

収入(円)	保育園	デイサービス	有料老人ホーム
平成29年度	144,983,640	31,832,901	84,271,142
平成30年度	138,516,840	32,396,031	88,109,122
平成31年度	118,631,900	36,095,518	80,336,589

2. 第三者評価の受審

保育園では平成31年度に社会福祉士会による第三者評価を受け、全職員にとって外部研修を受ける以上の成果が得られた。受審をして見えてきたことが沢山あり今後の保育に十分に役立てられると感じている。今年度は第三者評価での課題解決に職員と共に1つずつ取り組んでいく。また、保育園では今後3年毎の受審をしていく。

次年度(令和3年度)は、シニアでも受けられるように準備を進めていく。